

令和8年10月7日

県土整備部道路課

国スポでにぎわう青森の街で奥入瀬の自然に出会う ー奥入瀬溪流移動博物館をアスパムで開催！ー

現在工事中の「奥入瀬（あおふなやま青樺山）バイパス」の完成後、国道102号奥入瀬溪流区間では通年の車両規制を予定しており、「奥入瀬自然博物館」として人中心の静かな空間へ生まれ変わります。

こうした取組を広く知っていただくため、観光客が多く訪れるあおもり国スポの開催期間に合わせて「奥入瀬溪流移動博物館」を開催します。

期間は10月10日（土）～14日（水）の5日間、青森県観光物産館アスパムを会場に、ビッグ苔ウォールや苔テラリウムの展示、顕微鏡での観察体験などを通じて、奥入瀬の自然の魅力を身近に体感できるイベントです。

県民の皆様はもちろん、国スポの観戦などで青森県を訪れる方々にも、奥入瀬の自然とこれからの姿を知っていただけます。

ぜひ、多くの方に奥入瀬溪流の魅力を届ける機会として、取材・報道にご協力くださいますようお願いいたします。

記

1. 日時 令和8年10月10日（土）～14日（水） 10：00～17：00
2. 場所 青森県観光物産館アスパム 2階 machicotoba（マチコトバ）
（青森市安方1丁目1番40号）
3. 入場 無料
4. 主催 青森県県土整備部道路課 （運営：NPO 法人奥入瀬自然観光資源研究会）
5. 実績 令和6年度は青森空港、三沢空港、東京スカイツリータウン®で開催、
令和7年度は青森駅、東京都御徒町モンベルで開催、
今年8月にも青森県観光物産館アスパムで開催し、今回が7回目の開催。

報道機関用提供資料	
担当課	県土整備部道路課
担当者	整備推進G 工藤 一彦
電話番号	直通：017-734-9651 内線：6830
報道監	県土整備部次長 鈴木 英宗

知るほど、行きたくなる。

街なかで 出会う、 奥入瀬

未来の野外博物館へ



奥入瀬溪流 移動博物館

OIRASE MOBILE MUSEUM



2026

10/10 (土) - 14 (水)

10:00 ~ 17:00



青森県観光物産館

アスパム 2F

machicotoba (マチコトバ)

奥入瀬溪流 移動博物館

国スポでにぎわう青森の街で奥入瀬の自然に出会う

本物のコケに触れ、ミクロの世界をのぞき、
展示や映像を通して、奥入瀬の魅力と未来を体感。
奥入瀬の「自然の博物館」を、街なかで楽しめる特別な機会です。

ふさふさの苔 & 奥入瀬の神秘を体感！ “『ビッグ』苔ウォール 展示”

奥入瀬溪流の石垣が目の前に!!

ループを使って
「本物の苔」をじっくり観察。
広がる小さな苔の世界に、
気分は奥入瀬さんぽ♪



ここは苔の森!? “苔テラリウム展示”

まるで
苔の森に迷い込んだような気分!
苔テラリウムの世界で、
奥入瀬気分の一枚を撮ろう♪



奥入瀬の魅力を発信! “奥入瀬溪流紹介”

現役ネイチャーガイドが、
奥入瀬溪流の
とっておきの魅力をご紹介します!

さらに美しい映像で、
四季折々の奥入瀬溪流を体感。

知ればもっと、
奥入瀬溪流へ行きたくなる♪



小さな自然の世界へ! “顕微鏡コーナー”

顕微鏡を使って、
苔や変形菌を観察しよう!
ミクロの世界をのぞいてみよう♪



“奥入瀬溪流の 関連書籍・グッズ販売”

もあるよ

未来の奥入瀬ってどんな場所? “パネル展示&イメージ動画”

近い将来、
人と自然がもっと近くなる
奥入瀬溪流。

“未来の野外博物館”を
のぞいてみよう♪



アンケート抽選会

アンケートにお答えいただいた方に
素敵な奥入瀬溪流商品をプレゼント!

A賞: 奥入瀬溪流ツアー体験招待券 × 5本

B賞: 奥入瀬関連書籍 × 100本

C賞: りんごジュース × 100本

D賞: ポストカード × 100本